

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>(ケイタイサイト <http://mw.hiroringi.or.jp/>)

新年のご挨拶

一般社団法人広島県臨床検査技師会

会長 丹下 富士男



会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は皆様にとってどんな1年でありましたでしょうか？

振り返って見ますと、世界の主要な国々のリーダーの交代があり変革する中、東日本大震災の爪痕も未だ残っており被災者の皆様に笑顔は戻らず、消費税、原発、TPPの取り扱い等で揺れ動き、政治不信や政局優先に対する動きに不満も多く、衆議院解散となり歳末総選挙が実施されました。1日も早く日本国の軌道修正をしていただきたいと思います。

医療関係に携わる我々に取りそういった雰囲気を一掃してくれたのが、iPS細胞を開発しノーベル医学・生理学賞を授与された山中伸弥教授(京都大学)の話題ではなかったのではと思います。再生医療の道を切り開き、オーダーメイド医療への道標となったことは非常に興味深いものがあります。

そして、「おいしい! 広島県」では決してスター集団とは言えないサンフレッチェ広島FCが、Jリーグ20周年という節目での悲願の初優勝を果たし、広島を活気付けてくれたことではないかと思えます。CARPも今年こそはCSに進出して盛り上げてもらいたいものです。

広臨技におきましては、一般社団法人に移行し、6月末日の総会後から新体制となり半年が過ぎました。その間、会員の皆様や賛助会員をはじめ関係各位のご支援、ご協力によりまして事業は順調に遂行されております。また、日臨技におきましても宮島新体制となり、「存在感のある日臨技創り」を掲げられ奮闘されておられます。

さて、今年は日本臨床衛生検査技師会 中四国支部医学検査学会(第46回)を「変革のとき、原点を見つめて未来へ」-匠の伝承-をテーマに11月9~10日と広島国際会議場で開催いたします。臨床検査の基盤となる部分はちゃんと残し、未来に向けて新たな視点を考えて行く学会となればと思っております。広臨技会員1500名の力を結集して「広島じゃけん」と胸をはって言えるような盛會裡の学会としたいものです。会員の皆様をはじめ、関係各位のご協力をお願いいたします。

今年は『巳年』です。巳の特徴は探究心と情熱と言われます。それに肖り気持ちを新たにして、会長就任時にお約束いたしました「人材育成」を重点項目として位置付け、地域医療を支え、県民の期待と信頼に応えられる法人となりますよう努力して参りたいと思えます。

皆様方には今年も変わらぬご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げますとともに、皆様方とご家族にとりまして良い年でありますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願ひいたします。

中四国支部医学検査学会（第45回）が岡山にて開催される

広島市民病院 安部由貴子

第45回日本臨床検査技師会中四国支部医学検査学会が平成24年11月3日（土）～4日（日）の両日にわたり、岡山コンベンションセンターにおいて、「輝かしい未来のために今何を伝えるか～人間力・技術力～」をテーマに開催されました。今回、入場者数1925人、高校生約60人と、あわせて2000人弱の参加があり、両日とも会場は活気あふれる印象でした。教育講演では岡山大学大学院医歯薬学総合研究科名誉教授の小出典夫先生による「検診における臨床検査の意義」、特別講演には、岡山理科大学工学部 バイオ・応用化学科 准教授の山本俊政先生による「漁業改革への果てしなき挑戦！＜好環境水が拓く未来の養殖＞」、橋本義肢製作株式会社の鹿嶋了介先生による「足と靴と健康について」の講演が行われました。また、市民公開講演会として元読売巨人軍・スポーツキャスターの宮本和知先生による「トップアスリートとは」の講演があり、多くの参加者を集めていました。その他にも、各分野のシンポジウム、生理検査のテクニカルスキルアップ講座と実技講習会、日臨技データ標準化・精度保証セミナー、ランチョンセミナー等充実した内容が企画されました。一般演題においては257演題と、過去最高の応募があり、多彩な演題の中、どの会場にも多くの参加者がみられました。

今回、広島県臨床検査技師会広報部では、来年広島で開催される第46回日本臨床検査技師会中四国支部医学検査学会のPR活動をさせていただきました。活動内容として、広島県臨床検査技師会のブースを用意していただき、来年の学会パンフレット・広島県の観光案内の配布、アンケートの実施（答えてくださった方にはもみじまんじゅう付）をしました。私は最初、ただ配付するだけでいいのよね・・・と安易に考えていましたが、いざ配ってみると受け取ってもらえないこともあり苦戦しました。しかし、みなさんと協力した結果、パンフレットの配布枚数は2日間で約500枚、アンケート回収枚数は約300枚と、来場された多くの方々に来年の学会をPRできたのではないかと感じています。

また、今回開催された学会の企画のうち、高校生を対象とした「高校生のための学会体験ツアー」に同行させていただきました。高校生に学会体験を通じて臨床検査を知ってもらうとともに、臨床検査技師になる方法を紹介するという企画で、このような試みは初めてとお聞きしていましたが、10数名の参加者がありました。

ツアーには学会会場の案内と病院見学があり、病院見学先には岡山済生会総合病院の検査室が用意されていました。見学には済生会総合病院の検査技師さん数名が会場から同行され、一般、血液、生化学、微生物の各セクションを10分程度ずつ回らせていただきました。一般検査では、尿試験紙を使用した定性試験をしてpH等の項目説明をされたり、顕微鏡で実際に尿沈渣をみる体験がありました。血液検査でも、標本を顕微鏡で見ながら血球のはたらきなどの説明がありました。

<見学ツアー受付の様子>



<血液検査 標本の説明>



生化学検査では、自動分析機に実際に検体を投入し、検査の流れを見せていただきました。微生物検査では、身近な菌ということで、手洗いによる残菌の程度を実際に写真で説明されており、高校生にとってもわかりやすく興味を持ちやすい内容となっていました。合わせて 30 分程度の見学でしたが、参加された高校生に感想を尋ねると、「おもしろかった」、「普段見ることのないものがたくさん見れて楽しかった」と、有意義なツアーとなったことがわかりました。

臨床検査技師は、高校生にとってあまり知られていない職業かもしれませんが、今回のような企画を通して臨床検査技師に興味を持ってもらい、また、目指してもらえれば嬉しいなど感じました。今回私は初めて中四国支部医学検査学会に参加させていただいたのですが、改めて規模の大きさや参加人数に驚きました。これだけの学会を成功させるには、運営側ひとりひとりの力が不可欠だと感じました。今回の岡山での成功を受け、来年も充実した学会となるよう頑張っていきたいと思いました

「修道大学祭 de エイズ検査」キャンペーンの報告

広島三菱病院 竹本 幸夫

「修道祭 de エイズ検査」に今年も参加してきました。

このキャンペーンは「HIV 検査や予防に関する正しい知識の普及啓発、検査受検勧奨」という目的で、学生が中心となり、私たち技師会や行政がサポートするという形で行われ、今年で 3 年目となりました。

当会からは私を含め 2 名のスタッフが参加し、採血と HIV 簡易検査をお手伝いしました。

キャンペーンは 13 時から 16 時までという短い時間でしたが、STAcademy(Shudai Think of AIDS café) 班と HIV 簡易検査班に分かれ、STAcademy 班ではコーヒーを飲みながら、クイズを通してエイズの予防やエイズについての正しい知識の啓発を行い、HIV 簡易検査班は HIV 簡易検査の受検勧奨や HIV 検査に来た方へのプレカウンセリング・採血・検査・ポストカウンセリングを行いました。

STAcademy の利用者は 83 名で、そのうち HIV 簡易検査の受検者は 19 名でした。

「学祭」というお祭り気分の中でのキャンペーンであったため、活動の難しさもあり、HIV 簡易検査の受検者数は少ないようでしたが、学生に HIV 検査の受検の大切さやエイズに対する正しい知識の啓発はある程度出来たと感じました。



第30回 広島県医学検査学会のご案内（第7報）

テーマ：「チーム医療へ臨む」～未来への躍進そして挑戦～



【開催日】平成25年3月9日（土）
～10日（日）
【場 所】City Plaza Sugiya（すぎや）
（呉市中央3丁目8番18号）

来る3月9日、10日に、呉市で第30回広島県医学検査学会が開催されます。

テーマは「チーム医療へ臨む」～未来への躍進そして挑戦～です。1日目のシンポジウムでは、医療技術の高度化により感染症に対する抵抗力が低下した患者の増加などから、医療機関においては、適切な院内感染対策の実施が求められています。そこで、それぞれの医療機関における職種の立場から、チーム医療である、院内感染対策についてどのような取り組みをしているか、講演していただきます。

また、開催地区要望企画では2名の技師による海外発表体験談を語っていただきます。これから海外発表にチャレンジしたい方は必見です。

2日目のスタートは、会員による一般演題発表です。当初予定の15題を越える19題のエントリーがあり、会員の皆様には感謝申し上げます。

ランチョンセミナーではB型肝炎ウイルス関連とチーム医療についての2題を予定しています。

後半は、国際交流として、韓国の臨床検査技師による講演があります。

引き続いての表彰式では、一般演題の中から優秀な発表を選考し、その発表者の所属施設を表彰いたします。

プログラム最後は、広島大学病院 総合内科・総合診療科 准教授の佐伯俊成先生の一般公開講座です。タイトルは「不眠は万病のもと、良眠こそ健康のもと－何はなくともまず睡眠！－」です。人生の3分の1は睡眠であり、万人に共通する究極のストレス解消法とは「良質な睡眠」です。

会員の皆様、多数のご参加お待ちしております。

各施設連絡責任者及び技師長等会議について（お知らせ）

平素は技師会活動に対しご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、各施設連絡責任者及び技師長等会議を下記のとおり開催いたします。

この度は、高知大学医学部附属病院検査部 技師長 小倉克巳先生をお招きして、学術部管理運営部門と合同で講演会を開催いたします。

一般会員の方も含め多数の参加をお願いします。ご多用とは存じますが、繰り合わせのうえ出席くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成25年3月9日（土） 13：30～14：30

場 所：City Plaza Sugiya 呉市中央3丁目8番18号

内 容：講演 「優れたリーダーと団結力があれば、素人は強い」

高知大学医学部附属病院検査部 技師長 小倉克巳先生

組織調査部 学術部管理運営部門

<機器・試薬展示について>

3月10日（日） 9:00～15:30

学会場において機器試薬の展示を行ないます。

<昼食について>

ランチョンセミナーではお弁当（無料）を200名分準備しております。

当日朝、総合受付で先着順に弁当引換券をお渡しします。

第30回広島医学検査学会 懇親会申込みについて

懇親会参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailでお申込みください。

記

日時 : 平成25年3月9日（土） 18:00～20:00

会場 : City Plaza すぎや 3F 鳳凰 呉市中央3丁目8番18号 TEL (0823) 22-2156 (代)

会費 : 5,000円 (学会受付時に徴収いたします)

申込締切 : 平成25年2月21日（木）

参加申込先 : メール送付先 Email aritani@saiseikai-kure.jp

FAX送付先 済生会呉病院 臨床検査室 有谿 俊一

FAX 0823-26-7291

第30回広島県医学検査学会 懇親会参加申込書

施設名	会員番号	氏名

研修会・イベントのお知らせ

平成 24 年度 第 3 2 回広島県臨床検査精度管理向上研修会プログラム

日 時：平成 2 5 年 2 月 2 4 日（日）14:30～18:00

場 所：広島医師会館 2 階 大講堂

総合司会：広島県医師会常任理事

岩崎 泰政

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|----------------|
| 1. 開会挨拶 | 広島県医師会会長 | 平松 恵一 |
| 2. 成績優秀施設への表彰 | | |
| 3. 第 4 0 回（平成 2 4 年度）精度管理調査結果の評価・解説 | 司会：山肩クリニック院長
K K R 吉島病院 | 山肩 俊晴
室 暢彰 |
| (1) 生化学・免疫 | 広島大学病院検査部 | 森本 隆行 |
| (2) 血液 | 広島大学病院検査部長 | 横崎 典哉 |
| (3) 輸血 | 県立広島病院 | 藤井 明美 |
| (4) フォトサーベイ | | |
| (一般・尿定性) | 呉共済病院 | 佐々木 彩 |
| (病理) | 広島大学病院 | 栗田 佑希 |
| (細胞) | 呉医療センター・中国がんセンター | 西村 俊直 |
| (血液) | 広島市立安佐市民病院 | 中島 静 |
| (生理) | 呉共済病院 | 西山 博 |
| (微生物) | 済生会広島病院 | 檜山 誠也 |
| (5) 総評 | J A 広島総合病院臨床研究検査科部長
広島鉄道病院臨床検査室部長 | 山田 一夫
中山 宏文 |
| 4. 特別講演 | | |
| 「 演題未定 」 | | |
| 講師 | 日本臨床検査専門医会会長
日本医師会医臨床検査精度管理検討委員会委員 | 佐守 友博 |
| 座長 | 広島県臨床検査精度管理委員会委員長
世羅中央病院企業団企業長 | 神辺 眞之 |
| 5. 質疑応答 | | |
| 6. 閉会の辞 | 広島県臨床検査技師会会長 | 丹下 富士男 |

主催 (社) 広島県医師会 (3.5 単位)

(社) 広島県臨床検査技師会 (基礎-20 点)

平成 24 年度 第 3 回一般領域研修会のお知らせ

日時：平成 25 年 1 月 19 日（土）14：00～17：15（13：30 受付開始）
場所：広島市立広島市民病院 10 階講堂

講演 1 「血球計数装置における体腔液・髄液測定について」

講師：シスメックス株式会社 学術情報課

折田 茂 先生

講演 2 「ヘマカラー染色による体腔液細胞の鑑別」

～日常遭遇する良性細胞と悪性細胞の鑑別～

講師：九州大学病院病理部

大久保 文彦 先生

一般検査や迅速細胞診に用いる染色は 1) 迅速性、2) 簡便性、3) 再現性の確保は必須事項であり、ヘマカラー染色は 1 分以内で完了しメイギムザ染色に匹敵する染色性を示す。鏡検後は完全乾燥を行い永久標本として保存可能である。本講演では日常遭遇する体腔液細胞の良性細胞と、鑑別を要する悪性細胞について触れたい。

講演 3 「髄液検査、病態知識と細胞鑑別」

講師：社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院

大田 喜孝 先生

第 1 部：「髄膜炎を究める」～細菌性髄膜炎とウイルス性髄膜炎の鑑別を中心に～

髄液一般検査の本来の目的は早急な治療を必要とする細菌性髄膜炎を、他のウイルス性などの非細菌性髄膜炎と区別しようとするものである。今回、髄膜炎の発生機序について解説するとともに、細菌性髄膜炎とウイルス性髄膜炎における臨床症状や髄液一般検査所見を含む各種検査データをもとに、両者の鑑別点を明らかにしていく。また、髄膜炎に関する最近の知見についても言及したい。

第 2 部：「計算盤で異型細胞を見落とさないためには」

日常検査において計算盤上の予期せぬ細胞に遭遇する可能性は十分に考えられるわけで、もしそれが診断・治療のために有力な所見であり、髄液一般検査の中でいち早くその情報を臨床側に提供できたとすれば、これは迅速診断の意味において画期的な付加価値となる。一方、異型細胞が出現しているにもかかわらず、それを見過ごしてしまえば、その時点で診断へのアプローチラインは断ち切られてしまうことになるのかもしれない。今回、サムソン染色による計算盤上の細胞の見方を整理し、異型細胞を認識するうえでのポイントについて解説する。

■ 問い合わせ先：呉共済病院 検査部 佐々木 彩

TEL 0823-22-2111（内線 4303）

■ 共催：シスメックス株式会社

血液領域研修会のご案内 ～講義と鏡検実習（骨髓）～

日 時：平成 25 年 2 月 16 日（土）14：30 から
場 所：広島大学医学部 基礎講義棟 2 階形態実習室

講演 1 「骨髓を診るコツ」

KKR 呉共済病院 中川浩美 技師

講演 2 「スライドカンファレンス（仮）」

広島赤十字・原爆病院 塔村亜貴 技師

鏡検実習

症例解説

症例 1 国立病院機構 呉医療センター

中川智博 技師

症例 2 広島赤十字・原爆病院

未定

■ 問合せ先：広島市立安佐市民病院 臨床検査部 中島 静
TEL (082) 815-5211

事務局からのお知らせ

年会費口座振替のご案内

ご登録いただいている銀行口座から平成 25 年度年会費 17,000 円が
平成 25 年 2 月 27 日（水）に引落されます。

退会手続きのご案内 ＊事前に退会手続き出来ますのでお早めに！

平成 25 年 3 月末で技師会を退会予定の方へ

3 月 31 日までに退会申請をしてください。

日臨技ホームページより用紙をダウンロードし日臨技へ郵送で提出してください。

1 月 31 日迄に退会手続きの処理がされないと平成 25 年度会費が口座から引落されます。

2 月 1 日以降に退会申請された方は口座引落が完了します。

引落された年会費は自動的に戻ってきません。その場合は「年会費返金願」を日臨技へ提出して各自で返金手続きを行ってください。

（なお返金は 3 月末までに申請受理された方のみ対象です。）

* 詳しくは日臨技ホームページをご確認いただき早目の手続きをお願いいたします。

http://www.jamt.or.jp/pickup/pickup_022.html

■ 問い合わせ先：広島県臨床検査技師会 事務所

TEL：082-502-6011 FAX：082-502-6031

Email：info@hiroringi.or.jp

平成 24 年度広島・西部地区レクリエーション スキー・スノーボードバスツアーのご案内

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

広臨技では、今年度の広島・西部地区レクリエーションとして、スキー・スノーボードバスツアーを下記のとおり企画しましたので奮って参加して下さい。

記

日 時： 平成 25 年 2 月 9 日（土）

7：45 広島駅北口（新幹線口）集合 ⇒ 16：00 スキー場出発

場 所： やわたハイランド191リゾート（※変更する場合があります）

会 費： 3,500 円

募集人数： 30 名

申込方法： 申込書に氏名・レンタル有無（レンタル料金は別途必要）を記載して、
下記宛先までファックスにてお願いします。

[スキーレンタル]は身長・クツのサイズを記載してください。

[スノーボードレンタル]は身長・クツのサイズ・ボードの向き（レギュラー（左足前）or
グーフィー（右足前））を記載してください。

申 込 先： 吉島病院 大塚 Email：otsukat54@yahoo.co.jp

Fax：（082）249-2536

締め切り： 平成 25 年 1 月 25 日（金）17：00 まで

問合せ先： 吉島病院 大塚 Tel：（082）542-8939



以上

----- 切り取り線 -----

FAX送信先（082）249-2536

吉島病院 大塚 宛

広島・西部地区レクリエーション申込書

施設名・所属：

TEL：（ ） ー

氏 名	スキー・スノーボードレンタル
	有 無
	有 無
	有 無
	有 無

「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」の施行に伴う 血液譲渡に関する取り扱いの変更について

献血いただいた血液において輸血等に使用できないものは、輸血医療への貢献につながる検査・研究用で、献血血液の使用が不可欠な場合等に、日本赤十字社の社内手続きに基づき各都道府県の血液センターが窓口になって、これまでは要請のあった研究機関等に提供してきました。（以下「血液譲渡」という）

今般、厚生労働省より「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」（平成 24 年 8 月 1 日付薬食発 0801 第 1 号）が示されたことより、平成 25 年度以降に血液譲渡を希望される場合、この指針に基づく公募要領をご確認のうえ、公募に申請していただくようお願い申し上げます。

「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募について

http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/5-121127_1.html

【日本赤十字社における公募窓口】

日本赤十字社 血液事業本部 製造管理課
〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
電 話：03-3437-7204（直通）
e-mail：nissekikoubo@jrc.or.jp
担 当：献血血液公募担当

【本件に関するお問い合わせ先】

(1) 提供する血液に関するお問い合わせ
日本赤十字社 血液事業本部 製造管理課
(2) 指針及び公募要項に関するお問い合わせ
厚生労働省 医薬食品局 血液対策課
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
電 話：03-3595-2395
e-mail：ketsueki2@mhlw.go.jp



求人のご案内（平成 24 年 12 月 5 日現在）

No	受付日	施設形態	所在地区	雇用形態	人数	募集業務内容
225	11 月 20 日	検査センター	広島市西区	正社員	1 名	検体検査
224	11 月 15 日	病院	安佐南区	正社員	1 名	臨床検査業務
223	10 月 4 日	病院	三原市	正社員	1 名	臨床検査業務
221	7 月 27 日	病院	尾道市	正社員	1 名	臨床検査
217	6 月 13 日	病院	広島市西区	臨時職員	1 名	臨床検査業務
216	6 月 4 日	病院	安芸高田市	臨時職員	1 名	臨床検査業務



広臨技ホームページ、FaceBook ページに関する問い合わせ

< webmaster@hiroringi.or.jp >

ホームページや FaceBook に関する問い合わせ、相談等は、情報システム委員会までお願いします。
これから FaceBook を始めようと考えていらっしゃる方も・・・お気軽にどうぞ！



広報部あて専用 E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。
モバイル端末からのメール送信も可能です。

※次号速報の原稿〆切りは、1 月 7 日です。

